

下関鯨類研究室活動記録（平成28年4月～平成29年3月）

1. 調査研究活動

山口県を中心とする日本海に生息する鯨類の季節的分布変動の調査

山口県水産研究センターとの共同研究で、同センター調査船が行う定線観測調査に同乗して鯨類目視調査を行った（4月、5月、6月、10月、3月）他、同センターよりデータの提供を受けた。また、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学の漁業練習船耕洋丸の第62次航海に同乗し、下関港～那覇港の間で鯨類目視調査を行った（1月）。

鯨類のストランディング（座礁・漂着・混獲）に関する調査

日本全国の海産哺乳類のストランディング情報を収集し、データベース化を進めた。平成28年度は464件の情報を収集した。2015年に収集された鯨類の情報は下関鯨類研究室報告No4. に収録するとともに、ウェブサイト上でも公開した。

下関を中心とする近代捕鯨史の研究

長門市大日比地区で昭和期まで行われていたイルカ追い込み漁に関し、関係者の取材と資料の収集を行った。また近年の捕鯨を巡る動きについて情報を収集分析し、講義・講演活動に反映させた。

スナメリの調査研究

市内三軒屋海岸における長期間定点目視観察のデータ解析を行うとともに、ストランディング個体の調査を行い、頭骨等の標本を収集した。また文献調査などから最新の知見を集め、成果の一部を当研究室が主催する「鯨塾」第二期第11回で報告した。

昭和時代の「鯨の解体ショー」に関する研究

昨年度に引き続き、国立国会図書館等の資料調査や聞き取り調査等で新たな情報の収集と分析に努め、研究成果を「昭和期『鯨の解体ショー』の研究（続報）」として、日本セトロロジー研究26号に発表した。また成果の一部を当研究室が主催する「鯨塾」第二期第10回で報告した。

東洋捕鯨（日本水産捕鯨部）に関する共同研究

東京農業大学、下関市立大学らとの共同研究で、ニッスイパイオニア館が所蔵する明治・大正期の東洋捕鯨事業所の記録の調査を継続して行った。成果の一部は日本セトロロジー研究会第27回（寺泊）大会で発表された。

ノルウェーと日本の捕鯨に関する比較研究

国立民族学博物館の岸上伸啓教授が主催する海外学術調査「グローバル化時代の捕鯨文化に関する人類学的研究-伝統継承と反捕鯨運動の相克」の研究成果として、「現代ノルウェーの捕鯨（1）～（3）」を日本鯨類研究所機関紙「鯨研通信」469、471、472号に発表した。また国内小型捕鯨業の調査を、千葉県南房総市および宮城県石巻市で行った。成果の一部を当研究室が主催する「鯨塾」第二期第8回で報告した。

2. 学会発表

漂着専門委員会報告；日本沿岸のストランディングレコード2015. 石川創、田島木綿子、石井雅之、山田格.
日本セトロロジー研究会第27回（寺泊）大会 2016年6月

黄海のナガスクジラ：回遊と個体群状態の推定. 宇仁義和、石川創. 日本セトロロジー研究会第27回（寺泊）大会 2016年6月

3. 論文・出版物

石川創 (2016). 昭和期「鯨の解体ショー」の研究（続報）. 日本セトロロジー研究 26: 7-16.

石川創 (2016). 現代ノルウェーの捕鯨（1）. 鯨研通信 469: 22-29.

石川創 (2016). 現代ノルウェーの捕鯨（2）-日本との技術比較と鯨肉消費拡大の努力-. 鯨研通信 471: 16-27.

石川創 (2016). 現代ノルウェーの捕鯨（3）-監視制度と鯨肉流通、そして鯨を捕る人々-. 鯨研通信 472: 5-16.

石川創 (2016). 日本沿岸のザトウクジラのストランディングレコード. 下関鯨類研究室報告 4: 1-11.

石川創（編）(2016). ストランディングレコード(2015年収集). 下関鯨類研究室報告 4: 38-61.

松石隆、松田純佳、黒田実加、佐藤雅彦、佐藤理恵、石川創 (2017). 利尻島における鯨類漂着記録（～2015）. 利尻研究 36: 83-88.

4. 講義、講演等

鯨塾	第一回 世界の鯨・日本の鯨・山口の鯨	4月23日
	第二回 鯨の進化と海洋への適応	5月14日
	第三回 下関と鯨の歴史	6月18日
	第四回 鯨の座礁（ストランディング）の不思議	7月9日
	夏休み子どもスペシャル くじらは海のほ乳類	8月27日
	第五回 食としての鯨	9月10日
	第六回 現代捕鯨事情	10月8日
	第七回 日本の南極海調査捕鯨	11月19日
	第八回 ノルウェーの捕鯨と日本の捕鯨	12月10日
	第九回 捕鯨と動物福祉	1月7日
	第十回 昭和期「鯨の解体ショー」の記録	2月18日
第十一回 スナメリとミンククジラ	3月18日	
出前講座	文関小学校3年生	7月5日
	川中小学校5年生	10月21日
講義	下関くじらサマースクール	8月3日・5日
	小学生「下関体験」バスツアー	8月24日
	放送大学面接授業「鯨学：鯨の生態と人の関わり」1	11月12日
	放送大学面接授業「鯨学：鯨の生態と人の関わり」2	11月12日
	放送大学面接授業「鯨学：鯨の生態と人の関わり」3	11月12日
	放送大学面接授業「鯨学：鯨の生態と人の関わり」4	11月12日
	放送大学面接授業「鯨学：鯨の生態と人の関わり」5	11月13日
	放送大学面接授業「鯨学：鯨の生態と人の関わり」6	11月13日
	放送大学面接授業「鯨学：鯨の生態と人の関わり」7	11月13日
	放送大学面接授業「鯨学：鯨の生態と人の関わり」8	11月13日
	スナメリ物語 ふるさともし海探検隊	12月26-27日
水産大学校海洋生産管理学科・海洋機械工学科4年	1月17日	
東亜大学医療学部健康栄養学科	1月27日	
もじの海を探検！～スナメリウォッチング～	3月11-12日	
講演	下関商工会議所女性会	5月19日
	長門大津くじら食文化を継承する会	5月28日
	クジラを食べる会	7月2日
	クジラを食べる会	10月15日
	下関ロータリークラブ例会卓話	10月24日
	お話会「点と点」	12月8日
	第9回鯨資料室シンポジウム	1月28日

5. その他

(記事)

石川創 (2016). 鯨を学ぶ勉強会「鯨塾」. 下関鯨類研究室報告 4: 63-64.

石川創 (2016). 鯨塾へ行こう！ 下関くじら食文化を守る会機関誌「いさな」18: 6-9

くじら通信（下関市長のメール通信に連載）4月5・14・18・21日、5月6・16・23・27日、6月13・27日、7月10・20日、8月22・24日、9月12・21日、10月17・23日

(監修)

小学二年生1月号「クジラウォッチ」特集 p19-22

(ウェブサイト)

2015年収集ストランディングレコード、鯨塾案内、研究報告書発行情報、活動報告等を掲載。 3月